



2021.12.20

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### サンタさんは、いるよね？

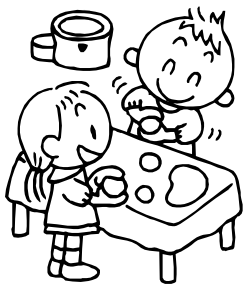
子どもたちにとってはとても楽しみ、でもご両親にとっては、ちょっと大変？なクリスマスが近づいてきました。この時期、「いい子にしていないと、サンタさんがプレゼント持ってきてくれないよ。」と言うだけで、さっとおりこうさんになる魔法の言葉。小さい頃は本当にいると誰もが信じていましたね。

我が家に孫たちが勢ぞろいすると、必ず息子が自分の子どもも含めて甥っ子や姪っ子に話し出します。「サンタさんにプレゼントを頼んだか？でも、サンタさんは望み通りのプレゼント



をくれない時もあるんだぞ。」「どうして？」と子どもたちは口をそろえて聞き返します。「だって、おじさんはいつも〇〇レンジアのレッドが欲しい、とお願いしても別の色レンジアだった。」と言うのです。さらに付け加えて「それに、高価なゲームは絶対プレゼントしてもらえなかった。」と笑いながら話し、「だから、あまり期待しちゃダメだ。」と締めくくります。その話を聞いて、「サンタさんにもいろいろ事情があったのよ。」と、少し申し訳ない思いをしながら、主人も私も大笑いしています。さて、親になった我が子どもたち。サンタさんの苦勞が身に染みてわかったのではないのでしょうか。

ところで、サンタクロースは実在するってご存知ですか。実は試験があり、これに受かると公認サンタクロースとして認められます。結婚して子どもがいること、体重が衣装や装備を含めて、120 kg以上（女性は別）等の条件を満たしていること。そして体力測定があります。『プレゼントの入った袋を持って50mを走った後、はしごで高さ3mを登って、直径120cmの煙突に入り、暖炉から這い出なければならない。その後、子どもたちが用意したクッキー6枚と牛乳を完食して、スタート地点に戻るという制限時間2分の障害物リレーをクリアすること。』これを突破した候補者は、英語かデンマーク語での面接を行って、合格した人が公認サンタクロースとなれるのだそうです。公認されなくても、サンタさんはあちこちにたくさんいますよね。子どもたちみんなにサンタさんから素敵なプレゼントが届きますように。



### もちつき

12月の恒例行事、お餅つきが無事に終わりました。昔は年末になると、各家庭で餅つきを行い、鏡餅やのしもちを作ってお正月を迎えるのが日本の伝統行事でしたが、今やお餅はパックになっていて、お店で買うことができ、いつでも好きな時に食べることが出来ます。ですから、餅つきを知らないお子さんも多いのではないのでしょうか。どうやってお餅が出来るのかを見せたいと、幼稚園ではずっと続けて行っています。お米を蒸して、ご飯になったものを見せ、臼と杵について、段々お餅が出来ていく過程を見せていきます。実際に自分たちも杵でお餅をつきます。子どもたちは大喜びで、元気な掛け声と共にお餅をつきました。ついたお餅はピンクと白で花餅を作り、園でのお正月を迎える準備が出来ました。

### 私のルーティン

幼稚園に来て、私が必ず行うルーティンは、『各部屋をまわって子どもたちに挨拶をする』ことです。各部屋に「おはよう！」と言って入っていくと、子どもたちは「園長先生！」とワーッと寄ってきてくれ、話しかけたり、持っているおもちゃを見せてくれたり、一度盛り上がると、なかなか終わりません。が、一人ひとりに返事を返しながら、全クラスを回って、子どもたちの元気な様子を確かめて、最後のバス到着を出迎え、1日が始まります。

こうやって子どもたちから発するパワーをもらうことが、私の元気の源です。子どもたちに感謝と共に、この1年幼稚園にご理解・ご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。来年もよろしく願いいたします。良いお年をお迎えください。

